泥家から茅葺き家へ 支部だより⑰ 埼玉県支部

野村 光宏

深庵)の改修を行っています。 高校において継続的に研修会を開いて 前支部長(厚沢秋成氏)の下で石 埼玉県支部では、 の下、構築した泥の茶室 現在は「前々支部長 埼玉県立いずみ (高橋 (泥

ち寄り、 まりました。会員自ら伐採木等を持 の球体計画と共に泥深庵の改修が始 で2年ほど休んでいましたが、 時休止としました。 修会を行 チョウナがけ、 込み栓で止める木組みの研 躯体ができたところで 石の球体づくり 原寸墨だし 昨年か

きに決まりま

知識、

根は新たなる挑戦と

して、



五箇山相倉集落

一般社団法人 日本庭園協会

東京都新宿区西早稲田 1-6-3 福田ビル 301

編集者: 広報委員長・柴田 正文

字:故・上原 敬二

発行日: 平成 26 年 3 月 20 日

題

〒169-0051 TEL: 03-3204-0595 (FAX 兼用)

E-mail: gsj20@m7.dion.ne.jp URL: http://nitteikyou.org/

委員・小沼 康子、加藤 精一、内田 均

自分の足で探すのと同じだと思いまし 私たち庭師が石積みをする時、 刈りも体験した方がいい」と言われ、 日本茅葺き文化協会の安藤先生も参 初めてのことで苦戦しました。 店に行くのではなく、 動かすことに慣れている我々です 「茅葺きする人は、

(二社)

山に入って

石材

き家へ、 係を探ることも良いと思います。 人のすみかの原点、 建築に関わる事から庭との関 泥家から茅葺

屋内での茅葺き研修を終えて

躯体完成時

作品発表会を開催し、2月には場所 例年12月に会員の力作を持ち寄る しているお礼として「泥深



茅場での茅刈り研修を終えて

役員の間で「茅葺きの家を見に行こ に参加し異業種の方々との交流も楽 若手技能後継者の指導の下、 主催による会津大内宿での「茅刈り 使う側にたちながらの見学は勉強に として昨年の研修旅行(10月5日) う」という事になって、 れを体験できました。 &茅葺き体験ワークショップ」(11月 なりました。 辺の茅葺きを見学しました。 6日)は岐阜県の五箇山・石川県周 しく新鮮でした。翌日には茅場へ行 また、(二社) 茅刈りの体験をしま. ~17日)に参加し茅葺き職人と しく思案していたところ、 日本茅葺き文化協会 夜には懇親会 手がける準備 経験、 作る側、 一連の流 茶茅葺

会費納入のお願い

日ごろより、当協会の活動・運営にご理解 ご協力を賜り、誠にありがとうございます。 当協会は補助金や交付金などは一切受けて おらず、運営は会員の拠出する会費のみで まかなわれております。今年度も皆さまの 速やかな会費納入をお願いいたします。

■ 年会費:正会員 13,000円/1年 賛助会員 7,000円/1年 維持会員 20,000 円/1口

(年度は 1月 1日~12月31日が区切りです)

今まで行ってき

て行っています。 今後の支部活動は、

周辺管理を手入れの研修会とし

た事に積み重なる様な研修会にしてい きたいと思います。

埼玉県支部長)

■ 振込先:郵便為替口座 00110-5-7608

シドニーでの第7回国際日本庭園シンポジウムのようす 多くの仲間とともに、 私たちには先輩方から受け継いだ技術を次代へ引き継ぎ、 のが現状ではないでしょうか。文化財庭園の保存管理も喫緊我々の伝統的庭園技術を発揮する場も少なくなってきている についても、 ていくことが必要です。 積極的な学びの場を通して、 の課題です。 して発展させていく使命があ

いるようです

そのノウハウを活かし真剣に取り組むべき時期

そして海外に残る歴史ある日本庭園

自らの知識と技術に磨きをかけ

い方が良いと思います。

私たち日本庭園協会も、

ĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸ ĸŊŎĸŊŎĸŊŎĸŊŎĸŊŎĸŊŎĸŊŎĸĸŊŎĸ

ために力を合わせていきましょう。 び得たものを国際日本庭園協会、そして北米日本庭園協会の 日本の庭園文化の継承、 国際活動委員 発展の

- 1 -

担当者の

います。

開催される研究会を通して、

GA)が組織されました。

そのような状況の中、

5年前には北米日本庭園協会(NA

2年ごとのシンポジウムと年に数回

知識や技術の向上、

交流を図るべく、活発に活動されて

近年の社会情勢などにより、

北米の日本庭園所有者、

翻って日本の状況を見ますと、

伝統庭園技塾にも多くの参加者がありますが、

ります。

日常の業務はもちろん、

されています。

際日本庭園シンポジウムにも、数多くのご担当者の方が参加

発展を目的に、7回の開催を数える国

行錯誤されているところもまだまだ多いのが現状のようです。 にすばらしいものがあります。しかしその管理について、

日本庭園文化の発信、

今日では海外の方々にも身近なものとなり、

作庭技術や感性

に公開されているもので500以上の数にのぼります。

ン万博で日本庭園が造られてから1

40年、

18

日本庭園が海外でも多く

の方に愛されていることは、

みなさ

拓広

とおりです。

実際、

海外にある日本庭園は、

海外の日本庭園との連携

- 4 -

は平成26年3月20日の総会時に行 推薦があった。選考委員会では、平 補者の推薦依頼をしたところ3名の 望月敬生)を組織し、全国各ブロッ りの選考結果となった。 成26年1月15日に審議し、 ク※)に日本庭園協会賞・奨励賞候 賞選考委員会(委員長…金子直作 ・青木美樹子・柴田正文・高橋康夫・ 平成25年9月12日に日本庭園協会 賞状及び記念品を贈る。 暁・廣瀬慶寛/委員 なお、 下記の通 表彰

【選考結果】

- 日本庭園協会賞…該当者なし
- 奨励賞…田中徳夫 (山梨県)

【これまでの受賞者】

平成6年 成5年 基實(長野県) 第 1 第3回 曽根三郎 第2回 鈴木直衛 回河西 力 (静岡県) (京都 (静岡

平成17年 (平成7年 高橋良仁(埼玉県) 第4回 横山英悦 平成16年は休止) 秋田

-成 18 年 第5回 三鍋光夫(新潟

成 19 年 第 6 口 廣瀬慶寛

成 20 年 口 古平貞夫 (茨城

都 平成21年

平成22年 該当者なし

媛県) 県)、廣瀬辰臣(千葉県)、越智將人(愛平成23年 第9回 小泉隆一(福島

ため休止)

第1ブロック ※全国各ブロ 北海道・東北 内は支部名

関東 A (北海道南・宮城)

第2ブロ

第3ブロ 関東B (栃木・茨城・埼玉 ・千葉)

4 ブ 北陸・甲信越 (東京・ 神奈川

第

(石川・新潟)

第 5 ブ 口 東海・近畿

(静岡・愛知・京都)

第6ブロ 中国・四国(岡山・広島・ 鳥取・山口・香川)

(神奈

奨励賞

田中

徳夫

第 8 回 小沼康子 (東京

(平成24年 25年は選考規定策定の

【プロフィ 9 6 2 年 ル

家の方からの知遇を得て今日に に参加して、 の伝統庭園技塾を始め、研修会 半から(社)日本庭園協会主催 実家の田中造園に入る。 造園緑地工学科(東京都)卒業後、 県甲府市生まれ。 多くの庭師や作庭 (昭和37年) 国土建設学院・ 20 代後

復整備事業に参加 9 梨県甲州市 1 年 -成3年 向嶽寺庭園の修 4年)

2 0 1

9 9 7 5 吉沢邸 年 (平 年 伞 -成9年) 成7 年 山梨県 山梨県

都留市 西村邸

甲府市 2012年 (平成24年) 0年 (平成22年) 内山邸 山梨県 山梨県

夏庭展 甲府市 2 2年 元麻布ギャ 24 年) ラリ Щ 梨県 にて

甲府市 2 0 1 春庭展 3 元麻布ギャ 年 (平成25年) ラ 1) 山] にて 梨県

夏庭展 88号 (1992年刊) 3年刊) に紹介される。 (株) 建築資料研究社 01年刊)・209号 995年刊)・ 雑誌「庭」 $\widehat{\stackrel{2}{0}}$ 0 6 号 $\widehat{2}$

文化財庭園保存技術者協議会会 田中泰阿弥研究会会員 (一社) 日本庭園協会会員

中造園代表

庭園

龍居竹之介名誉会長 ①4月20日②5月25日

鑑賞研究部会連続講演会

日本の庭を知る」(全4回)

(3月20日

東京・明治神宮文化館)

成26年度定期総会

機関誌「庭園」復刊10号刊行しました

③6月22日④7月20日

第6回連続庭園基礎講座開催

9月

第2日曜日)

鑑賞研究部会秋季庭園見学会

東京都内」(11月中旬日帰り)

京都方面」(6月中旬

1泊2日)

鑑賞研究部会春季庭園見学会

ルディスカッション「これからの 庭を楽しむ」 ●日本庭園協会 95 年 のあゆみ (年表) 他 ■ 購入方法:事務局までご連絡ください

● 特集 創立 95 周年の回顧録「創

立九十五年の流れを導いた人々」 龍居竹之介 ● 創立 95 周年記念シ

ンポジウム「日本庭園の未来を語

る」● 東京都支部・本部共催パネ

- 価格:1,000円(税込) ■ 仕 様: A4 /フルカラー/94P ■ 振込先:郵便為替口座 00110-5-7608



技塾、

若手技術者の育成、

海外国際

た。詳細はGSJミニニュース、

協会

ムページでお知らせい

たします

賞研究部会の庭園趣味の普及、

庭園

会

機会を増やし、

継続事業として、

鑑

その他、全国の各支部主催の講演

研修会、見学会等計画されまし

「下関・山口」(11月)

山口県支部・本部共催講座

(10月16日~18日)

に周知し、会員の増加と一般参加の協会の活動の意義と魅力を広く一般

と思います。具体的にはホーム

ージの内容を充実させ、

日本庭園

公益法人の趣旨である公益目的事

(10月11日~15日 大義山覚照寺」

泊5日)

との提携文書調印式「シカゴ」 北米日本庭園協会(NAJ

より積極的に展開していきた

で進めていきたいと思います。活動への参加等の活動を新たな意識

ので大勢のご参加をお待ち

木立と水音がおりなす静謐な庭空間



西村邸(都留市)









2013 年春庭展



年本年度より新たなスター

-を切り

·東日本大震災復興記念庭園築庭·

「一般社団法人」に認定され、

本

伝統庭園技塾i

n 仙台

2

本

か

5

の お

知

5

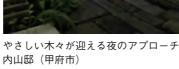
せ

ダイナミックな大石の水盤 西村邸(都留市)











西村邸(都留市)

内山邸(甲府市)

甲府市

元麻布ギャラリ

Ì

にて